

黒石市長とのランチミーティング議事録

開催日時 令和6年2月16日(金) 正午

開催場所 こみせの宿 ホテル逢春

出席者名 黒石市役所(1名)

①市長 高樋 憲

黒石商工会議所(21名)

①会頭

新岡常雄

②副会頭

桑田泰孝

③専務理事

工藤和明

④常議員 (4名)

中村公成 佐藤洵一 花田守正 工藤秀樹

⑤監事 (2名)

中澤和行 飯田大貴

⑥議員 (9名)

木村尚政 阿保六知秀 長峰徹吏 北山正之 山田広巳

高嶋良樹 工藤豊秀 宇野純子 八木橋旬一

⑦事務局員

三上昌一 小笠原綾子 三上彩音

議事の経過

工藤専務理事 開会宣言。

新岡会頭 黒石市の今後さらなる発展に向けて、市と会議所との認識の共有を図るため、初開催します。何卒忌憚のないご意見いただきますようよろしくお願いいたします。

桑田副会頭 今年、あおり10市大祭典が黒石市で開催されるが、メイン会場等知りたい。

高樋市長 おまつりパレードは御幸公園から駅前まで、各市町村物販コーナーはレストラン御幸の駐車場、メインステージはこみせ通り出店コーナーは横町や上町を計画している。またイベント開催中は交通規制をかけ、オリンパスと黒石運動公園を臨時駐車場として活用し、シャトルバスの運行を計画している。

市町村会から予算配分される5~7千万円の範囲内で運営を考えている。

中村常議員 開催日程を知りたい。

- 高樋市長** 9月28日(土)と29日(日)の両日開催となる。
- 佐藤常議員** 国の経済活動状況を示す指針となっている国内で一定期間内に生産されたものやサービスの付加価値の総額である国内総生産(GDP)を見ると、青森県は33位で一人あたりに換算すると360万円、1位は東京(一人あたりの換算は780万円)、続いて愛知県、茨城県となっている。人口が多い地域はランキングで上位にあり、経済活動も活発であることが推測できる。人口が減少している青森県においては、工業の生産性を上げることで、GDPを上げることが可能になると個人的に考えているが、市長はどのように思っているのか知りたい。
- 高樋市長** 青森県は今後さらに人口が減少していくと予想されるため、生産性を高くしていかないと死活問題になる。
- 先日誘致企業と懇談した際、数年前は青森県は労働者が多いことが強みであったが、近年は外国人労働者も県内では低賃金のため雇用が難しい状況となってきた。そのような状況下で、企業を誘致するのは大変厳しい。
- 当市では青森県の中央部に位置する黒石インターチェンジを津軽地域の物流拠点として活用し、物流ネットワークの強化を図るため、ロジスティクス戦略を策定し、新しい物流システムに対応した後続車無人隊列走行システムを活用できれば、流通業務の効率化に繋がると考えていたが、このシステムも岩手県北上までとなったため、国の政策には疑問点が残る。そのため工業化には大変な労力がかかるため、青森県は農林水産業などの一次産業や観光などで外貨を稼ぐしかないと思う。
- 一番の問題は首都圏との所得格差にある。そのため黒石市では、地方の特徴を生かすため、新年度から兼業農家の推進を計画している。近年健康志向が高まっており、有機栽培の農産物は大変な人気で、高額での売買が期待されており、当市では有機栽培のムツニシキの販売先の拡大に力を入れている。農業経営の安定化へ向けた推進も進めることで、若年層を青森県に定着させる仕組みづくりを構築させることが重要である。
- また、黒石市では米粉用米の生産に積極的に力を入れている。ウクライナ情勢の影響を受けて高騰している小麦粉の代理として利用でき、またグルテンを含まないため小麦アレルギーがある方など健康への効果も注目され、近年需要が高まっている。
- 佐藤常議員** 中小企業が週休3日制を導入するにあたり、自社の状況と週休3日制のメリットとデメリットを照らし合わせるため、前例を提示した方がが推進しやすいのではないかと。
- 高樋市長** 介護業界においても求人が集まらず、人材不足が懸念されている。しかし全国

区の企業には求人が集まっている現状がある。求人応募数の違いの理由は賃金格差である。このような賃金格差を無くすため、兼業農家の育成に力を入れたい。

新潟会頭 秋田県能代市に大手企業が製材・集成材の新工場を建設し、首都圏並みの給料のため、地元企業は人材確保に大きな痛手を受けている。

兼業農家で首都圏並みに所得を近づけるとのことであるが、一般企業で週休3日制度を導入するのは難しいと感じている。実際に生産性が上がるのか疑問点が残る。

佐藤常議員 さらにDXの推進を図るべきである。

高樋市長 デジタル化で生産性アップできる業種と出来ない業種がある。ぜひ商工会議所内でもう少し議論して頂き、このような形でディスカッションしていきたい。

桑田副会頭 当社では人材確保のため、最低賃金の引き上げを検討している。本日出席頂いた事業所の皆さまはどのような対応をしているのか知りたい。

宇野議員 当社では最低賃金1,125円にしているが、採用難の時代になってきている。

八木橋議員 介護業界でも人手不足が深刻である。

工藤専務理事 市長とのランチミーティングを閉会致します。

(午後1時00分)